

計画の概要

総合計画「なかつ安心・元気・未来プラン」に基づく
観光分野の基本計画
計画期間：令和4年度～令和8年度

計画の目標

新型コロナウイルス感染拡大や少子高齢化社会などの影響で観光客(観光入込客数・延べ宿泊者数)の絶対数が減少していますが、観光客数の回復のみならず、回遊性向上による滞在時間延長と宿泊者の連泊を目標とした観光消費額推計の増加を目標とします。
計画最終年に下記目標達成を掲げます。

現状値	令和3年	目標値	令和8年
観光入込客数	3,297,731人	観光入込客数	4,667,000人
延べ宿泊者数	204,947人	延べ宿泊者数	312,000人
観光消費額推計	76億円	観光消費額推計	112億円

基本方針

計画の目標を達成するため、3つの重点指針を柱として、5つの主要施策で取り組みます。

【3つの重点指針】

- 通過型観光から滞在型観光へ
- ここでしか出来ない体験プログラム
- 地域と協働した観光地域づくり

【5つの主要施策】

- マーケティングに基づく国内外に向けた情報発信や売り込みの工夫と強化
 1. マーケティング事業を活かした誘客・情報発信事業の展開
 2. 新型コロナウイルス対策と「新しい旅のスタイル」
- 山国川上下流域一体となった観光振興
 1. メイプル耶馬サイクリングロードを活用したサイクルツーリズム
 2. 日本遺産
 3. 食の推進
 4. 城下町観光
 5. 耶馬溪観光
 6. 中津みやげ
 7. 地域連携・広域連携
- 「不滅の福澤プロジェクト」の推進
- 受け入れ体制の構築
 1. 観光人材の確保・育成
 2. 安心して快適な旅を支える体制づくり
- 中津耶馬溪観光協会の機能強化への支援

